

アップ／ダウン・サンプリング機能について

FINALIZER 96Kのアップ／ダウン・サンプリングについて

FINALIZER 96Kのバージョン3.5以降は、全てのサンプルレート間でサンプルレート変換が行なえます。44.1 / 48 / 88.2 / 96kHzの入力サンプルレートに対して、どのレートへの変換も可能です。

ソフトウェアのバージョン3.5はFINALIZER PLUS / FINALIZER 96K両方でご使用いただけますが、アップ／ダウン・サンプリング機能を使用するには最新版のハードウェアが必要です。アップ／ダウン・サンプリングに対応した本体は、シリアルナンバーが1214250以降を持ちます。

アップ／ダウン・サンプリング対応版のFINALIZER 96Kは、本体の起動時に、アップ／ダウン・サンプリング対応のロゴが表示されます。ロゴが表示される場合は、対応ソフトウェア／ハードウェアが両方搭載されていますので、アップグレードの必要はございません。

お持ちのFINALIZERのシリアルナンバーが1214250以下の場合、基板交換を含むハードウェア・アップグレードが必要です。手続き・価格等につきましては、TCエレクトロニク日本支社までお問い合わせください。

例 1 :

96kHzのデジタル入力に対して44.1kHzの出力を得たい場合は、次の設定を行います :

- INページに移動します。
- 使用デジタル入力端子 (S/PDIF / AES/EBU / Tos) を選択します。
- SRCパラメータをONにします。
- MODE 48を選択します。
- 出力サンプルレートを44.1kHzに設定します。

以上で、96kHzのデジタル入力に対して44.1kHzの出力を行うサンプルレート変換を行います。

例 2 :

44.1kHzのデジタル入力に対して96kHzの出力を得たい場合は、次の設定を行います :

- INページに移動します。
- 使用デジタル入力端子 (S/PDIF / AES/EBU / Tos) を選択します。
- SRCパラメータをONにします。
- MODE 96を選択します。
- 出力サンプルレートを96kHzに設定します。

以上で、44.1kHzのデジタル入力に対して96kHzの出力を行うサンプルレート変換を行います。

例 3 :

アナログ入力に対して96kHzの出力を得るには、次の設定を行います :

- INページに移動します。
- INPUTパラメータで、Analogを選択します。
- SRCパラメータは、自動的にOFFとなります。
- MODE 96を選択します。
- 出力サンプルレートを96kHzに設定します。

以上で、アナログ入力に対して96kHzの出力を得られます。